



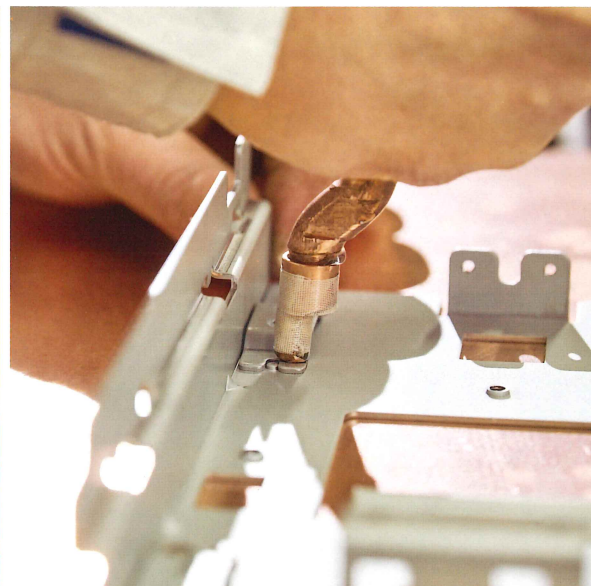
ISO9001 認証
2024 年 10 月更新審査済

koyo news

99

Serial Number

●発行 / 株式会社向洋技研 ●発行者 / 甲斐 豪 ●2025 年 4 月 15 日発行 / New 第 99 号
●〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 2-7-6 / TEL042-770-4306/FAX042-770-4310
URL●<https://www.koyogiken.co.jp> E-Mail●info-hp@koyogiken.co.jp



◆MYSLOT 導入インタビュー

株式会社クラフテックオカモト / 東京都

精密プレス加工業から「精密板金業」へ 業界トップを目指すブランドづくりの秘策とは

もともとは「渡邊プレス工業」の名前で、プレス機を 70 台ほど並べ、大手企業の量産小物を多く扱う精密プレスメーカーだった株式会社クラフテックオカモト。自社のプレス加工業としての経験と強みを生かし、熾烈な精密板金業の競争に挑みながら、「精密板金の日本トップに入るべく、最新設備をオペレーティングする企業運営」を目指す。「ここに頼めば問題ない」と言われる精密板金業界のトップを目指したい、と語る岡本社長にお話を伺った。



精密プレスから精密板金への転身

以前使用していたプレス機のうち、今でも残る当時の機械は、2台しかないというクラフテックオカモト。当時は組み立てまで行い、大手メーカーに納品する量産小物プレスメーカーだった。大手企業の納品先は監査等も厳しく、品質マネジメントはかなり鍛えられた。しかし、時代は移り変わり、大手企業は海外展開を開始。海外に行くことも選択肢として挙がっていたが、岡本社長は、あえて国内に残ることを決断する。では、国内で勝負するならば、どうすればよいだろうか―考えぬいた岡本社長は「それなら、多品種少量生産の板金業に思い切ってシフトしてみよう」と決断。そこから現在の精密板金「クラフテックオカモト」に繋がるロードマップを描き始める。「変わらざるを得ない。もし従来通りプレス機 70 台もって、中途半端なプレス屋だったら将来性がなかったという判断です」と続ける。ただ、多品種少量生産にシフトしても、当然のことながらそこにはライバルがいっぱいだ。岡本社長は「我々はいわゆる板金技術がない。それならばむしろ最新設備をオペレーティングする企業運営をしていくのはどうか。そして、そこから本当の精密板金にアプローチし、業界トップのチームに入れないか」とまずは設備投資を開始する。2018 年には旧社名の「渡邊プレス」から「クラフテックオカモト」に社名変更。社名から「プレス」の言葉がなくなり、いよいよ「クラフテックオカモト」という精密板金のブランド作りがスタートする。「精密板金、という看板を掲げた会社はたくさんある。しかし本当に精密板金できている会社は、もしかするとそれ程多くないのではないか。自分たちは、もともと精密加工のプレス屋だった。それゆえ、プレス屋ならではの精度や機材、検査機器を揃えている」と語る岡本社長。「板金というものはもともと、金型を使用しない。しかし、我々は、プレスでしか出せなかった精度を金型レスで行う。だからただの板金ではない。金型の精度を板金でも出す、ということ。これが本当に目指している部分」と続ける。また、プレス加工時代、大手メーカーによる定期監査等で鍛えられた品質のマネジメント力も功を奏す。過去の地道な積み重ねが現在のクラフテックオカモトのビジョンと品質を生み出しているといっても過言ではない。



岡本洋人取締役とNK71

テーブルスポットとの出会い

プレス加工業から精密板金業にシフトしようと決めた頃、高価な最新のベンダーを1台購入したものの、他の設備まで揃えることは難しく、当時はいろいろな中古機械をそろえていたという岡本社長。その中の一つにテーブルスポットがあったが、中古のためほどなくして手放すことに。そんな折、展示会で小型テーブルスポットのNK-71を発見。そのユニークな形をみて即決したという。もともとプレス製品では小物を多く請け負っていただけに、小型のテーブルスポットは大活躍。表面の平坦度が求められる製品に、テーブル電極はその力を大いに発揮した。そのような中、2016 年、今度は大型のテーブルスポットを導入。機械が受注を呼び込むのか、導入後まもなく、セルフレジの大型パネルの生産が決まった。これは、金型レス生産（プレスでしか出せなかった寸法や



大型テーブルスポットで製作するセルフレジパネル

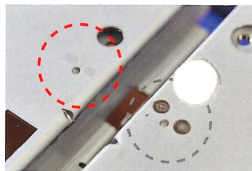
精度を、型レスで行うという生産方法)で行う提案で、これこそクラフテックオカモトでしか提案できないものといえるだろう。高速溶接とテーブル電極で作られる高品質な仕上がりにはお客様も大満足。岡本社長は「何よりも、スポット仕上げがいらずにそのまま納品できる、ということが一番。仕上げ工程があることにより、仕上げ不良がおきたりする」と、高速溶接に大きく評価を頂いた。そのような中、さらに 2024 年には高速溶接搭載の小型テーブルスポットNK-71を導入。この機械を導入した際も前回の大型スポット同様、特に作業を予定した製品はない状態だった。しかし、機械を導入し、営業するとたちまち新しい仕事が舞い込んだ。普通の汎用のスポットではできない、平坦度が要求される製品で、「本当に面白い展開だった」と岡本社長は振り返る。「私は設備が好きなんだと思う」と語る岡本社長は「昔ながらの職人技も、美術品や一点物を作るならいいと思う。ただ、優れた設備が当たり前になった今、昔ながらの職人よりも、機械と、その「補正」ができる人材がいればよいのではないだろうか。技術は機械が行い、必要な補正作業を人が行う。そして、会社は最新の設備で差別化しながら、QCD（品質・コスト・納期）のマネジメント力を持つことこそ重要ではないだろうか」と話す。

テーブルスポットの長所、短所は？

「テーブルスポットの短所、それは値段が高いことかな。だけどそれは長所でもあると思う。値段が高いからこそ差別化をはかれる、ということでは」と岡本社長は話す。さらに「最先端の機械は確かに高い、しかし安価な機械を買ってしまうと、今度は何とかしてその機械を使って良いものを生み出そうと、人のテクニックが必要になる」と話す。その一方、最先端の機械を購入していれば、機械に作業を任せることで、熟練の職人でなくとも精度の高い製品が作れる。「昔、自分が現場にいた時、当時の経営者はヤスリすら買ってくれなかった。削れないヤスリで何とか工夫して作業し、時間も労力もかかった。今考えたら、新しくいいものを買って作業すれば早く良い製品が作れる、という発想になるだろうけど、当時の経営者はそうではなかった」と語る岡本社長。高価な設備については、購入時は高いと思うかもしれない。しかし、その機械を何年使うか、日々の生産性、誰もができる操作性等を総合的に見れば、選ぶべきはどちらかおのずとわかってくるのではと続けた。



作業前、鏡で電極の状態をチェック



同製品の打痕比較。
左（赤）は最新型NK-71による。
右（グレー）は定置型による。
右は溶接痕がくっきりと比べ、
左はほとんど見えない。

今後の展望

SDGs に取り組んでいるというクラフテックオカモトでは「社員の健康を踏まえた働き方改革」として、定時退社や長時間労働の削減に取り組むほか、「持続可能な社会の実現への取り組み」として金型レス生産や生産設備の自動化によるCO₂削減を推進しているという。残業は嫌い、と語る岡本社長。長時間労働とならないために、パートナーシップを上手に組み、忙しい時は上手に工夫していきたい、と続ける。かつてのプレス加工業から、精密板金業への確実な転身を果たしたクラフテックオカモト。「我々が販売先を選べるくらいの競争力を常に持っていきたい。そうでない、逆にお客様は寄って来ないと思う。『私たちは製品価値を作ります』と掲げてどんどん自社ブランドをPRしていきたい、と締めくくった。

MYSPO T WEEKS 2025

テーブルスポットをより知っていただくために

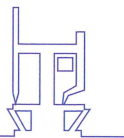
1月21日（火）ー2月14日（金）

結果報告

溶接個別相談会

溶接セミナー

セルフメンテナンス・日常点検講習



去る1月下旬から2月にかけて、MYSPO T WEEKS イベントが開催されました。個別のお客様溶接相談に加え、今回は「溶接セミナー」と「セルフメンテナンス・日常点検セミナー」を開催しました。多くのお客様にご参加いただき好評を頂くことができました。

溶接セミナー



まったく初めての溶接ですので、すべてが勉強になりました。丁寧に
ご対応いただきありがとうございます。

自分がやっているナット溶接が難しかったが、
あの機械をみて、やりやすそうと思った。

SPOT 溶接のおさえどころが理解できた。
現場作業者は必ず受講すべきと感じた。

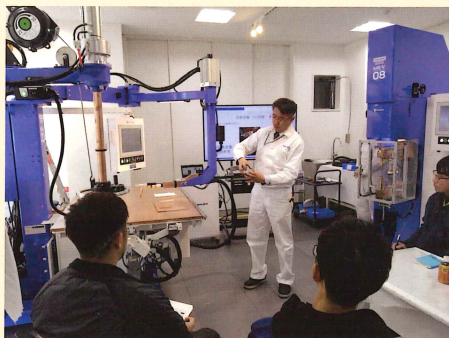
とてもわかりやすく覚えやすかった。
いろいろ学ぶことがあり、とても役立つ
セミナーでした。

自分の知識が正しいかの確認ができた。

丁寧に指導していただいた。今度は、
板厚・材質違いのワークの溶接について知識
を得たい。次回のセミナー情報がほしい。

多くのお客様に「今後の仕事の役に立つ」、「期待していた内容がほぼ得られた」と回答をいただきました。また、次回のセミナーを期待する声も多く、次回のテーマとして、「溶接不良とその対策」「難溶接材のスポット溶接」「品質管理」等を頂きました。是非、皆様のご希望やご期待にそえるセミナーを今後も開催していきたいと思います。

セルフメンテナンス・日常点検講習



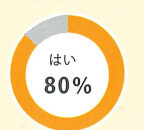
わかりやすく丁寧な説明で、
これならできそうだった。
メンテナンスの重要性が理解できた。

冷却水タンクのメンテナンス等、知らなかった
部分があった。役立つと思う。

自分が行っていない点検項目があった。
ストレーナの清掃や銅板の手入れ方法は
役立ちそう。

初めての開催となった本セミナー。多くのお客様から「今後の仕事に役立つ」、「今後は自分で点検が行えると感じた」とおっしゃって頂きました。実際の機械を前にした座学に加え、作業を見ていただくことで、点検作業の内容がより実感できたのではないのでしょうか。

本講習は、今後の仕事に役に立ちそうですか？



講習後、ご自身で日常点検を行えと感じましたか？



New-No.99



2025-No.2

koyo news

99
Serial Number

●発行 / 株式会社向洋技研 ●発行者 / 甲斐 豪 ●2025 年 4 月 15 日発行 / New 第 99 号
●〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 2-7-6 / TEL042-770-4306/FAX042-770-4310
URL●<https://www.koyogiken.co.jp> E-Mail●info-hp@koyogiken.co.jp

今こそ、スポット工程を「利益を生み出す工程」にー

春のお客様溶接相談会 開催

4 月 15 日 (火) ～ 4 月 25 日 (金)

日々のスポット作業をする中で、「現在のスポット工程をよくするためにじっくり相談したい」「もっと MYSPOT のいろいろな使い方を教えてほしい」「難溶接材の接合について、より詳しく教えてほしい」等のお問い合わせを数多く頂いております。今回はそのご希望にお応えして個別相談会とセミナーを2つ企画しました。今こそ、スポット工程を「利益を生み出す工程」にしてみませんか？



1 溶接個別相談

テーブルスポットの実機を使用して実ワークの加工検証をしたい、現在のスポット工程の問題を相談したいというお客様に。他社様を気にすることなく、完全プライベートでじっくり検証できます。お申込みの際には、お時間を指定してご予約をお取りください。

1 社様 2 時間 (目安) となります。

10:00- 13:00- 15:00-

2 溶接セミナー (有料)

前回好評の溶接セミナーを再度開講いたします。この機に、「スポット溶接の原理原則」を学んでみませんか？テキストを用いた座学と実習の4時間セミナーです。

4 月 23 日 (水) 10:00-12:00 (座学)、13:00-15:00 (実習)

参加費: 一人 ¥5000 (テキスト付)

お昼は各自ご準備ください。 ※定員 10 名

お申し込み方法



上記 QR コードからお申込みください。

3 SGCC 材 溶接セミナー

溶接のたびにメッキがチップにつく等、スポット作業を難しくする SGCC 材。少しでもそれを改善するための特殊電極や治具、周辺機器の活用事例などをご紹介します。

4 月 24 日 (木) 10:00-12:00 (座学と実技)

※定員 10 名

一覧カレンダー

4 月

15(火)	16(水)	17(木)	18(金)
溶接個別相談	溶接個別相談	溶接個別相談	溶接個別相談
21(月)	22(火)	23(水)	24(木)
溶接個別相談	溶接個別相談	溶接セミナー (有料)	SGCC セミナー
			25(金)
			溶接個別相談